

平成26年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強するいい学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：平成26年12月実施、教職員：平成27年2月実施]	学校評価委員会からの意見
<p>【前年度と比較した肯定的評価の概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒・・・34項目中、12項目(35%)で改善 ・ 保護者・・・28項目中、18項目(64%)で改善 ・ 教職員・・・41項目中、27項目(66%)で改善 <p>【生徒】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、予習や復習をして授業を受けている。(肯定率 71.3%。昨年度より 6.0%増。) ・ 私は、学校の図書館をよく利用している。(肯定率 44.6%。昨年度より 4.1%増。) ・ この学校のクラブ活動の日数は適切である。(肯定率 62.1%。昨年度より 3.8%増。) ・ この学校のクラブ活動は盛んである。(肯定率 54.0%。昨年度より 3.7%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。(肯定率 78.1%。昨年度より 6.5%減。) ・ 自分のクラスは、行事に積極的に取り組んでいる。(肯定率 81.0%。昨年度より 4.9%減。) ・ この学校は、生徒に清掃、校内美化にしっかり取り組ませている。(肯定率 68.2%。昨年度より 4.4%減。) <p>【保護者】</p> <p>○ 肯定的評価が増加した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。(肯定率 93.6%。昨年度より 46.8%増。) ・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。(肯定率 92.0%。昨年度より 7.4%増。) ・ この学校は、清掃、校内美化にしっかり取り組んでいる。(肯定率 81.8%。昨年度より 7.3%増。) <p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事は、子どもたちが楽しく参加できるように行なわれている。(肯定率 85.8%。昨年度より 3.2%減。) 	<p>平成27年7月18日に学校評価委員会を実施。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体で「授業改革」に取り組んでいることが、生徒が予習・復習をする率の増加へとつながったと考える。しかし、まだ70%程度なので、これに満足することなく、さらに率を高めていってほしい。 ・ 図書館の利用率が上がったのは良かったが、まだ40%台なので、知的好奇心を喚起し読書を促す取組みを継続的に行なっていく必要がある。 ・ 清掃・校内美化への取組みでは、生徒の肯定率が下がっている。新校舎の美しさを維持するためには取組みが不十分だということだろう。今年度に入って、生徒によるトイレ掃除を本格的に始めたが、生徒には自分達の学ぶ場をきれいにしようという気風を醸成したい。学校としても清掃・校内美化への取組みを強化し、その成果が出ることを期待したい。 ・ 生徒の行事への肯定率は高いが、昨年度より少し下がっている。各行事の意義をよく理解させ、積極的に参加するよう促し、より多くの生徒が行事の楽しさを実感できるようにしてほしい。

<p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肯定的評価が増加した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。(肯定率 82.5%。昨年度より 61.5%増) ・ 私は、教員同士の授業相互見学等に参加し、授業力アップに努めている。(肯定率 75.0%。昨年度より 44.1%増。) ・ 本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。(肯定率 56.3%。昨年度より 18.0%増。) ○ 肯定的評価が減少した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、学習指導要領に沿った教育課程の作成など法令遵守に努めている。(肯定率 77.5%。昨年度より 12.6%減。) 	
---	--

3 PDCAサイクルに基づく評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「この学校は、内容の分かりやすい授業が多い。」(生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」(生徒アンケート)	ア 基礎学力の定着と学習意欲の向上に努め、手厚く丁寧な学習指導を實踐 イ 予習復習にきちんと時間を割き、授業を中心とした学習スタイルを身に付けさせる	ア 肯定率 88.3%。昨年度より 0.2%減。 イ 肯定率 71.3%。昨年度より 6.0%増。	現状の評価をさらに高めていけるよう「授業改革」を推し進めていく。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R(道徳)の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」(生徒アンケート)	ア 進路講演会の実施やH.R(道徳)などで将来の進路や生き方について考えさせる	ア 肯定率 72.5%。昨年度より 2.8%減。	26年度は3月5日に宇宙飛行士の山崎直子氏をお招きし進路講演会を実施した。次年度以降も継続したい。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」(教職員アンケート)	ア 研究授業(教員間での授業見学)の実施により、指導力のアップを図る	ア 肯定率 82.5%。昨年度より 61.5%と大幅に増。また、「私は、教員同士の授業相互見学等に参加し、授業力アップに努めている。」でも肯定率 75.0%で昨年度より 44.1%の増となった。	学内の教科会議に加え、教科・受験指導に関する学外研修も奨励し、さらなる授業力アップに努めていく。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を確認し、指導の統一性を図る	ア 肯定率 84.7%。昨年度より 2.9%減。	高い肯定率となったものの、授業は学校生活の中心であり最重要の教育活動であることから、さらなる改善をめざしたい。
	(2) 校則遵守	ア「この学校の生徒は、校則を守っている。」(生徒アンケート)	ア 校則(あいさつの励行、環境美化、服装、頭髪、礼儀、通学時のマナー、男女交際等)の遵守に努める	ア 肯定率 61.5%。昨年度より 1.6%減。	本校の生徒指導の目的は「社会のリーダーにふさわしい善良な市民を育成する」ことであり、校則は学校・家庭・校外生活における生活規範としている。達成状況は芳しくなく、現状・実態を検証し次年度に向けて改善を図りたい。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」(生徒アンケート)	ア いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努める	ア 肯定率 80.1%。昨年度より 2.8%減。平成 26 年 5 月 8 日に「いじめ防止基本方針」を策定・公表し、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進している。	引き続き、「いじめ防止基本方針」に基づき、学校として取り組んでいく。

3 行事・クラブ活動	<p>(1) 行事への積極的な参加</p> <p>(2) クラブ活動への自由な参加</p>	<p>ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)</p> <p>ア「この学校のクラブ活動は盛んである。」(生徒アンケート)</p>	<p>ア 行事の意義を理解させ、生徒の積極的な参加を図る</p> <p>ア クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるよう態勢を整え、クラブ活動の活性化を図る</p>	<p>ア 肯定率 78.1%。昨年度より6.5%減。</p> <p>ア 肯定率 54.0%。昨年度より3.7%増。数値としては、昨年度より少しばかりの改善が見られた。改善した理由として、新校舎内に屋内運動場・屋内プール設置、グラウンド人工芝化、体育館改修等により、クラブの活動環境が整った点が考えられる。</p>	<p>行事では本物に触れ、知性・感性を刺激し、興味・関心・知的好奇心の広がりを図ることができ、本校教育の中では非常に大きな比重を占めている。生徒にこうした実体験を積ませるためにも、行事のあり方について研究を続ける。</p> <p>本校のクラブ活動は、平成17年に共学化の進行に合わせて議論を重ね確定した「クラブ活動基準」に基づいて行われている。クラブに所属している生徒が、勉強とクラブ活動を無理なく両立できるようにとの趣旨で学校として活動の基準を定め、生徒の学習環境を保証しようとしている。</p> <p>また、「この学校のクラブ活動の日数は適切である。」の肯定率が低いことから、活動基準の真意がまだ十分に浸透していないことが窺えるので、より多くの生徒・保護者に理解をいただけるよう努めていく。</p>
4 施設・設備	<p>(1) 新校舎のフル活用</p>	<p>ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」(保護者アンケート)</p>	<p>ア 新校舎の施設・設備を最大限に活用し、教育水準のグレードアップを図る</p>	<p>ア 肯定率 93.6%。昨年度より46.8%増。26年度に新校舎となって教育環境が全面的に改善されたため、肯定率が大きく上昇した。学習環境では、PC室を従来の1教室から2教室へと拡充させたことにより、情報の授業だけでなく、調べもの学習や研究発表等での活用も十分に対応することが可能となった。また、英語学習の重要性が高まることを見据え、PC室のすべてのPCにCALLシステムを導入した。</p>	<p>CALLシステムを活用し、英語のリスニング等の学習を行う。</p> <p>また、図書館(蔵書検索PCや視聴覚設備を設置)や自習室(質問をしやすくするため職員室近くに中高別々で設置)の利用も広げていきたい。</p>